

学校番号									
2	3	0	0	8	3	3	0	0	4

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月16日

札幌市立義務教育学校福移学園

1 本年度の目標

調和のとれた育みの充実	【知】	未来に生かせる確かな学力の育成
	【徳】	関わり合いを重視した豊かな心の育成
	【体】	「食」と「運動」を通じた健やかな体の育成

2 本年度の重点

<p>人間尊重の教育を基盤に据え、「子どもの声を聴く」を大切にしながら、9年間の連続した学びを通して、一人一人にいていねいなかかわりあいをするとともに、自立した児童生徒の育成を図る</p> <p>→子どもが社会とのつながりを意識して、「本物の経験」を積み重ねることで社会の発展に向けて行動する力を育むことができるよう、デザインし実行していく（コミュニティ・スクールの社会の仕組みを理解し、今後の活用も視野に入れながら）</p>

3 評価結果に対する学校関係者評価

	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
【知】 確かな学力	自ら学び、自ら考え、自己を表現し、学び合う児童生徒の確かな学力を育成することができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が学び合いに必要なスキルを身に付ける活動の機会を増やす。また、協働的・対話的に学びが進む授業の展開について教師自身も学びを深めていく必要がある。 協働的、対話的に学ぶ授業を展開し、自分の考えや思いを他者に伝える力を高めていく。 児童生徒が学びのつながりを感じられる教育活動を展開するとともに、教育課程の整備を進めていく。 	A	A
学校関係者評価 委員による意見		行事や参観日以外にも保護者や地域の方が学校に来られる機会を増やし、普段の授業の様子から児童生徒の学び合う姿を見ていただくことをしてほしい。			
【徳】 豊かな心	自ら秩序ある生活を心掛け、互いを思いやる関わり合いを大切にする児童生徒の豊かな心を育成することができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 生活委員会から書記局に引き継がれた挨拶運動をより充実したものにしていくことや、普段の学級での指導や声掛け等を積極的に行っていく。また、時と場所を考えた言動ができるように指導していく。 道徳や異学年交流の活動等を中心に教育活動全般を通して、いじめに向かわない態度を育てていく。 	A	A
学校関係者評価 委員による意見		学校内だけでなく、学校外においても自然に挨拶する姿勢をさらに育ててほしい。学年に関係なくつながることのできるレインボータイム(たて割り活動)は、今後も継続して行ってほしい。			

【体】 健やかな体	「食」と「運動」を通じて、自ら健康管理に気を付け、体力向上に努める児童生徒の健やかな体を育成することができたか。	A	・「食」と「運動」に関わる学習活動の取組を保健だより、給食だよりだけでなく、学校、学年だより等でも積極的に情報発信をしていく。 ・登下校時の見守りや事件事故への注意喚起等、引き続き子どもたちの安全・危機管理に努めていくとともに、教職員についても服務規律の確保について、より一層意識を高めていくよう促していく。	A	A
学校関係者評価 委員による意見		「健やかな体」育成のために、今後も学校と家庭が協力して取り組んでいくことを大切にしてほしい。事故につながらないような行動ができるように、引き続き声をかけたり、指導したりしてほしい。なお、下校の見守りについては、前期課程の先生だけでなく、後期課程の先生も見守れるようにしてほしい。			
情報発信	学校における取組、児童生徒の様子を発信することができたか。	A	・今後も各種お便りや HP などで発信していく。	A	A
学校関係者評価 委員による意見		来年度も、学校の取組や児童生徒の様子を積極的に発信し、より多くの人に福移学園を知ってもらえるようお願いしたい。			
九年間の学び	義務教育学校として、9年間を通じた教育を推進することができたか。	A	・今年度の学校行事やたてわり活動や委員会活動の反省点を整理し、より系統性のある学びになるように改善していく。	A	A
学校関係者評価 委員による意見		今後も、9年間の連続した学びや教育活動をさらに推進していくことを望んでいる。			

A：あてはまる

B：ややあてはまる

C：あまりあてはまらない

D：あてはまらない